

COVID Babies Start School

Newsweek

INTERNATIONAL

HOME COMFORTS

MOVING PATIENTS OUT
OF HOSPITALS CAN BE
BETTER FOR THEIR HEALTH



1 9 . 0 9 . 2 0 2 5

ISSN 2978-0918

3 8 >



9 772978 091007

ALBANIA €6.25
AUSTRIA €11.50
BELGIUM €8.00
CHINA RM80
CYPRUS €8.00
CZECH REP CZK180
DENMARK DKK69
EGYPT E£ 65.00

FINLAND €7.60
FRANCE €8.50
GERMANY €8.90
GIBRALTAR £6.05
GREECE €7.50
HOLLAND €8.25
HONG KONG HK\$80
HUNGARY HUF 5.990

ISRAEL NIS35
ITALY €8.00
KUWAIT KD3.00
LATVIA €6.50
LEBANON LL10.000
LUXEMBOURG €9.50
MALAYSIA RM27.90
MALTA €8.00

MONTENEGRO €8.30
MOROCCO MDH70
NEW ZEALAND \$14.00
NIGERIA ₦3,400
OMAN OR 3.250
POLAND PLN32.99
PORTUGAL €8.00
QATAR QR65

ROMANIA LEI 42.00
SAUDI ARABIA SR35.00
S LEONE SLL30.000
SINGAPORE \$11.95
SLOVAKIA €6.50
SOUTH AFRICA R55.00
SPAIN €8.00
QATAR QR65

SWITZERLAND CHF12.50
UAE AED45
UK £6.99
US \$10.99
ZIMBABWE ZWD4.00

川田テクノロジーズが未来を築く

100年以上続くものづくり気質に、ロボティクスと持続可能でグローバルなパートナーシップを融合させ、川田テクノロジーズは日本の建設業界が直面する課題に向き合い、世界の産業のためになる、安全で環境に優しく、よりつながりのある未来を形づくろうとしている。

By Daniel de Bomford, Arthur Menkes and Paul Mannion



「日本はインフラプロジェクトに取り組むべき、最も多くの経験を持っているのだから」

川田テクノロジーズ株式会社
代表取締役社長
川田忠裕

鍛冶屋はかつて地域共同体の心臓部であり、時代を超えて文明を形作り人類を支えてきた道具や素材を成形してきた。川田テクノロジーズにとって、その鍛冶屋の炉は今も燃え続けている。まさに今、かつての火は未来的の課題を解決するために開発されたロボットアームにつなげられている。

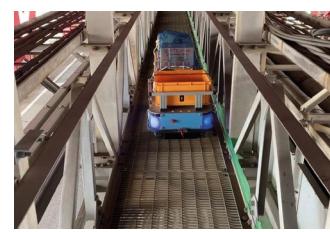
「当社の原点は常に鉄にあります



吊り荷をロープで誘導する装置
「EG-Guide」

す」と川田テクノロジーズ社長の川田忠裕氏は語る。社長自身、代々鍛冶職人や金属加工職人、エンジニアを輩出してきた家系の出身であり、その経験は組織の基盤に深く根付いている。「それが鉄であろうと、コンクリートであろうと、あるいはハイブリッドであろうと関係ありません。その考え方方はいまも当社に息づいています」と彼は述べている。

建設業界がかつてない課題に直面する中、同社は革新的かつ包括的な解決策でこの逆風に立ち向かっている。川田氏は、高齢化する労働力、熟練人材の不足、そして急激なコスト上昇を背景に「業界にとっては厳しい時期だ」としながらも、日本が進化する好機でもあると捉えている。



狭い点検路を通過するAGV

川田テクノロジーズは、人の技能と先端ロボティクスを融合させた革新によって建設現場を刷新している。重荷を運ぶ自動搬送車(AGV)、一人



人と協働するロボット NEXTAGE
(グローリー株式会社 埼玉工場)



3D溶接マスクシステム



明石海峡大橋

のオペレーターで吊り下げ梁を安定させるEG-Guide、熟練に要する年月を短縮する3D溶接マスクなどがその代表例だ。川田氏は、こうした技術が若者の技の鍛錬を後押しし支えられることこそが、溶接マスクのような技術を開発する理由だと語り、「それをできることが川田グループの強さ」と述べている。

NEXTAGEのような協働ロボットはクルーとともに働くことができるため、人間は人間ならではのより高いスキルが必要な役割を担うことができる。ドローンやAIもツールキットの一部となりつつあり、ヒヤリ・ハット(ニアミス)データを分析して安全リスクを予測とともに、熟練エンジニアの知識を将来世代へ継承している。

川田テクノロジーズのサステナビリティ戦略は、橋梁プロジェクトでの「グリーンスチール(環境配慮型鋼材)」の活用から、3つすべての工場への太陽光パネル設置にまで及んでいる。日本の都市型庭園での水資源保全を目的に開発された屋上緑化システム「みどりちゃん」は、現在では世界の干ばつに悩む地域からも注目を集めている。

海外展開において川田テクノロジーズは、拠点設置よりもパートナーシップを重視している。香港での「みどりちゃん」の施工実績や、スイスにおけるNEXTAGEロボットの販売代理店まで、その取り組みは幅広い。川田氏は「現地の状況を見極め、それぞれの土地で良いビジネスパートナーを見つけたい」と述べ、日本の耐震技術が役立つ可能性のある「環太平洋火山帯(リング・オブ・ファイア)」諸国での機会にも言及した。

川田テクノロジーズは、障がい者の社会参画を推進する「Valuable 500」への取り組みを方針だけにどめず、実践している。外出が困難な人々が遠隔操作でサービスロボットを動かす「アバターロボットカフェDAWN」への支援もその一例だ。川田氏は、遠隔操作の仕組みを建設現場に応用し、高齢者や障がいのある作業員が安全で快適な場所から施工管理を行える未来を描いている。



緑化システム「みどりちゃん」

かつての鍛冶職人がそうであったように、川田テクノロジーズは社会を新たな時代へと導く素材を生み出している。同社の使命は、すべての関係者に利益をもたらすことを重視する、日本の伝統的信念「三方よし」を拡張した「八方よし」の精神に根ざしている。川田氏は「エンジニアや営業担当、そして共に働くすべての人々が誇りを持てるようにならなければ」と語り、「自分が引退する日までに、それらすべてを実現したい」と抱負を述べている。

KAWADA
www.kawada.jp